



ご縁をありがとうございます。

はじめまして、ばーす です。

『生まれてきてくれてありがとう』

この言葉を、子どもたちへ。
そして、お母さん、お父さんへ。

私たち「ばーす」は、
助産院から始まりました。

命の始まりに寄り添う場所で大切にしてきた想いを、
そのまま学童へつないでいます。

子育てって、おもしろい。
子育てって、むずかしい。

子育てって、本当は、親育ち。

子どもを育てているようで、
実のところ、自分が成長させていただいている。

うまくいかない日なんて、あたりまえ。
怒ってしまう日もある。
笑えない日もある。
でもその先に、
なんとも愛らしい瞬間もまた、待っている。

自分とは違う「愛すべきその存在」と一緒に育つ。

違うから、ぶつかる。
違うから、変化する。
そして、まじりあって、
まるくなる。

そしてその先に、
ひとりじゃ見れないカラフルな世界が待っている。

ようこそ、ばーす へ。

令和9年度 学童保育ばーす千秋 ご利用についてのご案内

運営内容

- ①秋田市内の小学校に在学している1年生～6年生までの放課後の見守り
- ②定員90名
- ③支援員並びに補助員6～10名体制
- ④季節に合わせた行事や、学外講師によるワークショップ等

基本開所時間

- 平日： 12時～20時
- 土曜日： 7時～20時
- 長期休： 7時～20時
- その他： 開校記念日等に合わせた朝からの開所

休所日

- 日曜、祝日、お盆（8月11日～16日）、年末年始（12月29日～1月5日）
- 月曜祭日前の土曜日
（5月1日・7月17日・9月18日・10月9日・1月8日・2月12日・3月18日）

利用料

≪ 翌月27日に銀行引き落としにて清算。4月入所者の第1回目の集金は5月27日です。≫

- ①入所費：10,000円（初回のみ）（初回利用時にご持参ください）
- ②毎月の利用料：16,000円（月額）
（※ 長期休み時の別途の加算利用料等はありません。）

- ③延長費：【平日】18時31分以降30分毎250円
【土曜】15時1分以降30分毎250円

※兄弟利用引、シングル世帯引等あります。お問い合わせください。

※夏休みや朝からの利用時、弁当の注文が可能です。

（現在の注文先：ほっともっと・松屋・てんぷら醍醐）

注文弁当の代金は実費精算・利用料請求時に合算となります（1食650円程度）

☆習い事（希望者のみ）月4回のレッスン

- ピアノ教室：5,500円（月額）
- 書道教室：4,000円（月額）
- 速読教室：5,000円（月額）

☆ 学校からのお迎え費用

- ①明德・附属 ⇒ 基本徒歩通所
- ②広面・旭川・東・泉・保戸野
中通・築山・(明德・附属) ⇒ 200円/1回
- ③外旭川 ⇒ 250円/1回

所在地

〒010-0877 秋田市千秋矢留町9-25

ホームページ

<https://birth-akita.com/>

連絡先

TEL：080-6924-1200
Mail：gakudo.birth.akita@gmail.com



1. 学童保育ばーす千秋について

当学童保育は、「合同会社 石岡」が2023年5月より運営しています。

- ・学童保育（放課後児童クラブ）とは、児童福祉法に基づく、福祉事業です。
- ・対象：保護者が共働きや病気・介護などで昼間に家にいない小学生（1年生～6年生）
- ・いつ：放課後や長期休暇中、創立記念日などの休校日
- ・どんな事：宿題、おやつ、自由あそび、集団遊び、イベント事など。
（適切な遊びや生活の場を提供する施設です）
- ・目的：子どもたちの安全な居場所と健全な育成を図り、保護者の仕事と子育ての両立を支援。

私たちは、子どもたちにとっての「家庭」「学校」「地域」に次ぐ、もうひとつの居場所——『第二の実家』のような存在でありたいと考えています。

私たちが大切にしているのは、家庭のような「安心感」。

どんな子どももここで安心して過ごすことができる事。信頼できる大人、信頼できる友達が近くにいる事。その「安心感」があってはじめて、遊びも勉強も、まだできない新しいことへ挑戦する勇気が出てくるのです。「挨拶」や「対話」を大切にして、コミュニケーション力をつけて、いろんな人と、信頼関係を築ける子どもの育成を目指しています。

【特色】

1. 秋田市中に友達ができる（市内の様々な小学校から利用があります。）
2. 各種習い事が併設（習字・ピアノ・速読等）
3. 施設長が元体育のお兄さん
4. 副施設長が助産師
5. 自己肯定感の高い子に育つための環境づくりを目指している
6. 様々なジャンルの方との交流の場が多い

【意識的に取り入れていること】

※ レジリエンス力とは：失敗しても立ち直る力、折れにくい心

※ アントレプレナーシップとは：自分で考えて動く力

1. ひとりっ子にも兄弟喧嘩の機会を
2. 高校生・大学生くらいのちょっと年の離れた心の兄貴、心のお姉さんの存在を
3. 主体的に自分の意見を言える子を目指す
4. 「興味の種」を見つけた時が、はじめるとき
5. 何かあった時こそ、褒めて帰したい
6. お母さんお父さんも、ポロリと愚痴をこぼせる場所に
7. レジリエンス力・アントレプレナーシップを育む機会づくり（ケンカ対応・こども会議など）

【目指すところ】

「秋田で一番ジャンクな学童」です。

ここでいう「ジャンク」とは、だらしない、という意味ではありません。

子どもが「いい子」を少し休める場所、安心して素の自分に帰れる場所、そんな意味です。だから、親戚のちょっと年上の兄ちゃんちに遊びに行きつづけて過ごすような、そんな空間です。

だって、長期休みには、朝一から夕方までずっと学童にいるわけです。人によっては週6で。小学生の自分が「あれやこれや、こんなコンテンツが揃っているなら、まあ、毎日行ってやってもいいかな」と思うような学童を目指しています。

貴重な放課後や夏休みを、ただの時間つぶしなんかにはさせません。しかし、無理に頑張らせもしません。安心して、のんびり過ごす中で、本来の自分に帰れる場所を目指しています。

2. 【基本の保育スケジュール】



① 平日

学校終了後、来所
15:00 学習タイム
おやつ
(習い事)
15:30 自由遊び、イベント
17:30 リラックスタイム (掃除・整理整頓・帰りの準備・読書など)
18:30 通常保育終了(以降延長保育)
20:00 閉所

② 土曜日 / 長期休み期間

7:00～ 開所・登園・学習
9:00 自由遊び
12:00 昼食
13:00 自由遊び 学習
15:00 おやつ
15:00 土曜日の通常保育終了(以降延長保育)
17:30 リラックスタイム (掃除・整理整頓・帰りの準備・読書など)
18:30 通常保育終了(以降延長保育)
20:00 閉所

・基本的には、常時各自自由行動です。

昼食時以外は、全員が一堂に会する場面はありません。

工作や運動、ダンスや音楽ほか、外部講師によるワークショップ等様々なコンテンツを、年間を通して提案しますが、必須参加とせず、希望者のみで行うことを基本としています。

・17:30～のリラックスタイムは、スムーズに帰るために一度クールダウンをする時間です。

《宿題、家庭学習について》

自由遊びの前に「学習タイム」を設けています。この時間に宿題等を終わらせるよう促しはしますが、強制的にや、無理矢理にやらせても意味がないと考えておりますので、基本的には自主性を尊重しています。そのため、「学童で必ず終わらせるようにしてほしい」等のご希望には添えない場合があります。

《延長料金について》

保護者による玄関でのタブレット打刻時間に沿って計算されます。

18:31から、19:01、19:31と30分毎に延長料が加算されます。

《駐車場》

・玄関前に5台分の駐車スペースがあります。

17:30～18:30 は、渋滞が予想されますので、余裕をもってお越しください。

・到着5分程度前に1コール、お電話ください。帰りの準備を済ませ、玄関付近に待機させますのでスムーズに帰宅できます。

(上記の時間帯は極力渋滞にならないよう、お子さんが車に乗車しましたら、スムーズに出発をお願いします。)

3. 各種決まりごとについて

【登降室時のルールについて】

○下校～来所まで

・ 明德小

基本的には、自分で当施設まで歩いての来所となります。

千秋トンネルを通過しての下校コースです。

施設までは年長児のペースで歩いて約10分です。

最初は校門前にて、先生から引き継ぎ、一緒にトンネルを通過して学童へ向かいます。

同学年全員でそろって下校、の習慣化を行います。

・ 附属小学校

学校の基本方針にあわせ、基本的には歩いての来所となります。

最初は校門前にてスタッフが迎え、一緒に下校します。

施設までは年長児のペースで歩いて、約20分弱です。

※明德・附属共に引率は長くとも5月中までをメドにして、自分たちで歩けるようにします。

※なお、昨今の猛暑や急な悪天候、熊問題等、我々の時代とは色々と環境が違います。

『基本は』明德・附属は徒歩通所、としています。

希望児童については送迎も行っています。ご検討の方は石岡まで直接ご相談ください。



※悪天候や熊の目撃など、急遽学校から保護者へ迎えの依頼がくる場合があります。

お仕事で保護者の方が迎えに行けない場合は、学童へご連絡ください。

そのような不測の状況の場合は、普段が徒歩通所であっても全員をお迎えに上がりますのでご安心ください。

・ その他の小学校

「児童センター利用組」として下校させてください。

その日の利用児童の状況に合わせ、順番に児童センターにお迎えに行きます。

学校 → 児童センター → 学童保育

といった流れになります。

○学童保育利用中の出入りは、保護者の了承が必要です。

基本的に施錠し、勝手に外に出ることがないようにしています。

学童利用中に外部習い事などに行く場合は、必ず保護者から当施設へ連絡を入れてください。

保護者からの連絡がない場合は児童を外に出すことはできません。

○お迎えについて

・ 保護者のお迎えが原則で、それ以外は事前連絡が必要です。

保護者以外の方（普段は来ない祖父母や叔父叔母など）がお迎えの場合は、事前に保護者の方からお知らせください。連絡がない場合は、引き渡しできません。

・ 駐車場は、前面にある駐車スペース（5台）をご利用ください。

【保健衛生面】

- 学校が感染防止のため臨時休校・学級閉鎖した場合、当該学級・学年の児童は本人が罹患していても学童の利用はできません。
- 発熱や、咳がひどい場合などは、利用を控えるようにお願いします。
- 学童利用中にケガや体調を崩した場合、保護者のお迎えが必要です。
発熱等の場合は、他児童との接触を避け、安静室にて安静にさせています。
その際は急遽の早めのお迎えをお願いすることがありますので、対応をお願い致します。
- 緊急時を除き、病院受診は基本的に保護者の方へお願いしています。

【昼食・おやつ等について】

- 土曜日・振替日・長期休業中は、**水筒を持参**してください。
 - ・中身は、**水か麦茶のみ**とし、スポーツドリンクやカフェインを含むお茶（ウーロン茶・紅茶・緑茶など）は入れないでください。
- 昼食が必要な場合は、「お弁当を持参する」「注文する」の二択となります。
- お弁当注文について
 - ・**長期休みの場合** 事前に一括で業者注文をします。
「**利用予定表**」のほかに、「**お弁当注文表**」がありますので注文する場合は記入して下さい。
 - ・**土曜日・振替日** 都度お弁当の注文を取りますので、当日朝にお伝えください。
 - ・お弁当注文は、実費精算となります。（利用料にお弁当代金加算されて、翌月請求）
- お弁当持参について
 - ・夏季期間中は、食中毒を考慮し、持参のお弁当には**保冷剤**をお願いします。
（冷蔵庫でのお弁当保管はできません。）
 - ・小さいゼリーやフルーツなどで本人の食がスムーズになるのならば入れて構いませんが、過度のものは、ほかの子がうらやましがり逆効果になりますので、ご配慮をお願いします。
（アメ、チョコなどのおやつ類はデザートには入りません。デザート代わりにおやつ類を入れないようにご協力をお願いします）
 - ・おかずやデザートをお友達同士で分けたり、交換することは、できないルールにしています。
（衛生管理上とアレルギーなどの安全管理の観点から）
あくまでも「自分で持って来たものを自分で食べる」を原則としておりますのでご協力をお願いします。
- おやつの時間以外は、施設で飲食できません。お菓子等は持たせないでください。
持参していた場合、指導員が一時保管し、保護者にお渡しします。

【アレルギー対応】

- 食べ物や薬品アレルギー等がある方は、
入所時に医師記入の「**学校生活管理指導表（アレルギー疾患用）**」
（学校に提出されているものと同じもので可）をご提出ください。
記載内容に変更があった場合は速やかに再提出をお願いします。
変更がない場合も、進級のタイミングなど年1回程度、内容のご確認をお願いすることがあります。
- ・おやつやお弁当の対応方法については、施設長との面談にて要相談となります。
- ・アレルギー対応食は扱っておりませんが、子ども、保護者、スタッフ、全員が安心できる対応策を考えます。

4. 持ち物について

※ **全ての持ち物には、記名をお願いします！**

「物の取り違え・誰のものか分からない忘れ物」が頻発しています

【初日の持ち物】

- 着替え一式（上下衣服、上下肌着、靴下等）
- 着替えを入れておくためのバッグ・袋等
- 汚れものを入れるビニール袋
- 汗拭きタオル（多めに）
- 水筒（水か麦茶のみ）

ひとりひとりに、
専用のかごを用意し
ますので、常時保管で
きます。

スポーツドリンクやカフェインを含むお茶（ウーロン茶・紅茶・緑茶など）は入れないでください。

【通常の持ち物】

上記に加え、家庭学習や宿題用のノート、筆記用具など
(新1年生：4～5月は生活に慣れることが大切な時期です。勉強道具は不要ですが、ご家庭にあるワークブックなど持ってこれるものがある場合で本人がやる気がある場合は、ご持参ください。)

【着替えの補充物】

着替えを使用した場合は、翌利用時に着替えの補充をお願いします。

【内履き】

基本的に、はだしで活動を行いますので、内履きは不要です。

【外靴】

野外活動を行う場合があります。(多くはありませんが)
学校同様、かかとの固定できないサンダル等は履かせないでください。

【貴重品について】

玩具やゲーム、マンガ等貴重品の持参は禁じます。学校ルールに準じています。
持参していた場合、指導員が一時保管し、保護者に返還します。
施設内で破損や紛失してしまった場合でも、自己責任となり、保証できません。

ただし、現在「ポケモンカード部」があり、土曜日のみ、ポケモンカードの持参を
許可しています。(破損や紛失についても自己責任、保護者の承諾が必要としています)
新1年生でも、保護者の了解があれば、「ポケカ部」への入部は可能です

5. 習い事について

現在、ピアノ、書道、速読の教室があります。体験授業は随時受け付けております。
ご興味のある方は、お知らせください。
新1年生については、学校でのリズムに慣れた後(GW明け頃)から、をお勧めしています。

6. 写真撮影、SNS発信等について

- ・ インスタグラムで、日々の活動についての発信をしています。
基本的には顔を写さない写真が中心ですが、良い写真は紹介できればと考えています。
日ごろの活動を時々撮影していますので、良い写真が撮れましたら随時お渡しします。
- ・ テレビ新聞等のメディア取材が入る場合があります。
- ・ SNS・メディアへの写真掲載可否については、毎年4月に改めて書面にてご意向を確認させていただきます。(新規入所時は入所時に確認します)

7. 体育指導について

施設長・石岡大輔は、前職で体育講師として活動していました（専門は水泳）。得意な子をもっと伸ばすことより、苦手で尻込みしている子にスポットを当てた指導を大切にしています。跳び箱や逆上がりなども指導可能です。

決まった時間割はありませんが、自由遊びの時間にリクエストがあれば対応します。苦手な子ほどなかなか一歩を踏み出せませんが、「やってみようかな」というタイミングを見逃さないようフォローしています。

何にでも挑戦できる子に育つかどうかは、周りの大人、特にご家族の声かけが大きく影響します。ご家族の「私が運動が苦手だったから、この子も…」といった何気ない一言も、子どもは真に受けて「自分はできない」と思い込んでしまうことがあります。

日頃から、なるべくポジティブな言葉をかけてあげてことを意識してみてください。

根拠は不要です。ただ、「あなたはできる」と伝えるだけで大丈夫です。

縄跳びや側転などが上手にできたときは、お迎え時に披露してもらうようにしています。お時間があれば、ぜひ見て、思い切り褒めてあげてください。ご家族から褒められることは、何にも代えがたい自信になります。

8. 性教育について

副施設長・石岡真理子は、「産前産後ケアハウス 助産院ばーす」の助産師として活動する傍ら、小中高校で「いのちの授業」「性教育」も行っています。

当施設では、世界基準の「包括的性教育」を取り入れています。「包括的性教育」とは、5歳から18歳まで段階的に「自分の心と体の権利」や、自分も周りも大切にする方法を学んでいきます。

低学年では、絵本や人形教材を使い「自分の心と体は自分だけの大切なもの」ということを、お友達を大切にする気持ちと合わせて伝えています。内容はご家庭にも共有します。

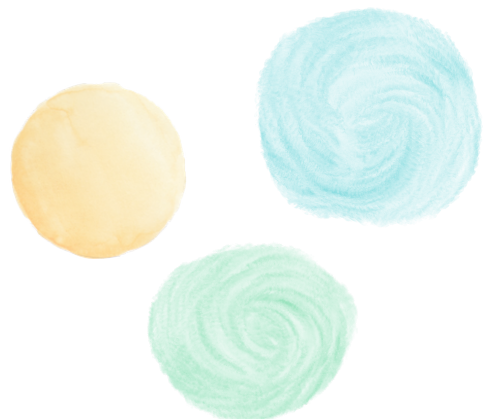
学年が上がるにつれ、思春期による心身の変化が個人差も含めて顕著になります。ご不安なことがあれば、個別にご相談いただけますので、お気軽に副施設長までご連絡ください。

9. 子育て相談等

施設長・副施設長は、大学生・高校生・小学生の4人の子育てをしています。スタッフも児童指導の経験豊富なベテランが揃っています。

困りごとは一人で抱え込まず、大事になる前にぜひともお声がけください。誰かに話すだけで、気持ちが軽くなり、解決への一歩になることもあります。

副施設長・石岡真理子（助産師・看護師）による個別の育児相談も随時受け付けています（当学童利用児の保護者の方は無料、1回60分程度）。助産院ばーすでは、有料の育児相談や親子での性教育教室も行っています。



10. 施設長の立ち位置、スタンスについて

施設長は、あえて「子ども側に立つ大人」という役回りを意識しています。
目指す人は「高田純次さん」。行動基準は「野原ひろし（クレヨンしんちゃんの父）」です。
ふざけたことを言ったり、ちょっとしたズルを大目に見たり、一緒にダラダラしてみたり――
時には他のスタッフから子どもと一緒にたしなめられることもあります。
一方で、唯一の父親世代の男性職員として、「**がっつり叱る役**」も担っています。

当学童には「3回ルール」が存在します。

2回目までは、穏やかに、「やめとけよー」程度で。自分で止めれることを期待して深入りしません。
残念ながら3回目の声掛けになった場合は、問答無用で施設長室行きです。

3回ルールの対象となるのは、主に「ケガの恐れがあること」「いじめにつながりかねないからかい」「秩序を乱すわがまま」「約束を守らない行動」です。たいていは2回目の声掛けで収まります。

施設長室では落ち着いて話をするができます。

普段は一緒にふざけてばかりいる「えんちょー」ですが、このような場面では、**ダメなことはダメだとまじめな表情で毅然と伝えます**。また、「**なぜこのような事をやってしまったのか**」本人にも必ず理由を聞くようにしています。そして、**なぜダメなのかを一緒に考える「論す」姿勢を大切にしています**。

（大声で怒鳴ったり、不機嫌さで威嚇したりするような叱り方は、恐怖心を植え付けるだけで、根本的な解決にはつながらないと考えています。）

ご家庭では、距離が近すぎて「叱る」「論す」がうまくいかないこともあると思います。
そんな時は、ぜひ私たちをご活用ください。



11. 「褒めて帰す」に一緒になって乗っていただくことへのご協力

お迎えの際、「ちょっとお母さん、実は…」とお子さんの耳にも届くくらいの声で、その日あった小さな良い出来事（すぐに宿題を始めた、泣いている子に声をかけていた、片付けが早かった、など）をお伝えすることがあります。

そのとき、「えっ、そうなの！すごいじゃん！」と、ぜひ話に乗ってあげてください。

子どもにとって大切なのは、褒められた「内容」以上に、「**褒められたことを親が喜んでくれること**」です。帰りの車内で少しでも「褒められて嬉しかったね」と共有していただくと、その行動が定着しやすくなります。可能であれば、ご家庭でもぜひ話題にしてみてください。この積み重ねが、問題行動を減らし、しいては自己肯定感の高い子を育てます。

12. その他

・子どもの居場所作りプロジェクト

学童保育の運営と並行し、学校に行けなくなった・行かないと決めた子どもたちの居場所づくりも模索しています。お困りの方がいらっしゃいましたら、お声がけください。

・放デイばーす

並行して「放課後等デイサービス」も近くで運営しています。
学童と行ったり来たりしながら、その子に合った環境を提供しています。

・「こども会議」

「**どうしたら実現できるのか**」を考え続けられる環境づくり

自分で考えて動く力＝**アントレプレナーシップ**を育む場として、生徒会のような「こども会議」を行っています。やりたいことや欲しい教材について子どもたち自身がアイデアを出し合い、**施設長にプレゼンして実現を目指します**。大人は見守るだけです。

ここから「ボケカ部」「イベント部」「ダンス部」「メイク部」「クッキング部」などが生まれています。1年生からでも参加できます（慣れてきた頃にお声がけします）。



・ケンカやトラブルについて

失敗しても立ち直る力「レジリエンス力」
を育む機会に☆



子ども同士のケンカやトラブルは、集団生活の中では自然に起こるものです。

子どもたちは、そのようなケンカやトラブルなどの「経験」を通して、円滑な人間関係の作り方や、社会のルールが身についていくと考えています。

ですから、なにかしらのトラブルも、むしろ貴重な成長のチャンス!ととらえております。

当学童では、ケガの心配がある場合やエスカレートしていく場合を除き、まず見守るようにしています。その後で、

- ①それぞれの言い分を聞き（傾聴）
 - ②中立の立場で状況を整理し（交通整理）
 - ③どうすればよかったかを一緒に考え（次回から良い行動ができるようにする）
 - ④納得したうえで、双方が「ごめんね」を言える着地を目指しています。
- （③まで無事に進んだところで、よく向き合っていることをまず大褒めします。これがその次に進むためにとても大事なステップです!）



お子様が何か学童内でトラブルなどを起こしてしまい、活動時間内に施設長から直接指導があった場合などは、保護者の方にも共有するようにしています。

このような場合にも、「成長の機会ですね!今日は向き合えてかっこよかったよ!どんどんお兄さん（お姉さん）になってるね」というスタンスで明るくお帰ししていますので、保護者の方からも、本人の気持ちを受け止めつつ「今後の成長が大事だよ。あなたなら大丈夫。いつも応援しているよ」というところに着地していただければよいと思います。

まちがっても、感情的に叱り飛ばしたりすることの無いようにご協力をお願いします。

学童内でトラブルがあったときは、極力お迎えの際に保護者の方へも共有していますが、帰宅ラッシュ時などに伝えそびれてしまったり、職員が把握しきれていないような子供同士の静かなトラブルなどもあるかもしれません。

もし、家に帰ってお子様からの話の中で、気になることがあった場合は、遠慮なく施設長へお知らせください。関係者から話を聞き、双方が納得できるよう対処します。

～学童期になって、幼児期とは変わってくること～

小学校低学年の子どもは、多くの場合、自分にとって都合のよい事は誇大に言い、都合の悪いことは言わなかったりします。また、こどものケンカの場合、「100対0」でどちらかだけが100%悪い、ということは、ほとんどありません。つまり「どっちもどっち」ということがほとんどです。このことを頭の片隅に入れておいて欲しいと思います。お子様の話は真剣に受け止めつつも、すべてを鵜呑みにしすぎないようご注意ください。（これは、「嘘をついた」とか「悪い子になった」ではなく、通常の成長過程です。）

「うちの子がこのように話しているのですが…、相手の言い分も聞いてみないと分からないと思いますので、何とかご対応をよろしくお願いします」（間に入って交通整理をお願いしますということ）というような保護者さんからの連絡もよくあります。このように、子どもの気持ちを大切にしながら、学童や学校の先生とのやりとりを重ねることは、日々忙しい保護者の方にとっては大変な事と思いますが、子どもの健全な成長のためには欠かせない大切なことです。大きく成長していくこの学童期を、どうぞ大切にかかわりながら、子供の成長と一緒に見守っていただけたらと思います。そのためにも、少しでも気になることがありましたら、ご共有くださると嬉しいです。お気軽にご連絡ください。

「ペアレントトレーニング」を無料で受けられます

ペアトレで
ほめ上手になろう!

職員も研修を受けています!

「いつも怒られる事ばかりするわが子に困っている」「いつも叱ってばかりで正直疲れた」「ほめたいのに、うまくほめれない」「わが子にどう接したらいいのか分からない」など、子どもとの関わりについて困っている親御さん向けの、子どもとの良好な関係を作るための上手な関わり方を学ぶプログラムです。（60分×4回あります）ご希望の方には、副施設長が育児相談と一緒にこのプログラムを提供することができます。まずはお気軽に「育児相談希望」とご連絡ください。

・入学後しばらくは、ご自宅でゆっくり過ごす時間を。

入学から2か月ほどは、新しい生活の緊張感や不安からの疲れがたまりやすい時期です。お休みの日は、旅行やイベントへ出かけるよりも、おうちで親子でゆっくり過ごせる時間をとってください。ゴールデンウィーク明けごろからは、体調を崩しやすい時期です。意識的にゆとり時間をつくってみてください。

・保護者の方へ・・・自分の心身も大切にしましょう

例えば、兄弟がいるご家庭の場合、下のお子さんに手がかかり、上のお子さんがいつも我慢していることもあります。そんな時は時々、「お母さん（お父さん）を独占できる時間＝スペシャルタイム」（例：1時間だけ二人でパフェデート、30分キャッチボールなど子どものやりたい事）を意識的に作ってみてください。その日は下の子だけ土曜日に学童に預ける、なんていうこともokです！
また同様に、親御さんがご自分を大切にするための時間を作るためにも、学童をご活用ください。お母さんお父さんが笑顔ならば、子どもも笑顔になります。ご自身の心の安定のため、安心して預けて、心身の健康を作っていただければと思います。
お母さんも、お父さんも、ひとりで頑張りすぎなくて、いいんですよ。
リフレッシュして、「笑顔で」お迎えに来て、「待っててくれてありがとうね！」とハグしてもらえれば、子どもは大丈夫です。

・最後に・・・

幼児から小学生になることで、子どもたちの世界は一気に広がります。
それにともなう不安や疲れは、子どもだけでなく保護者の皆様にも起こりうるものです。
学童保育ばーす千秋は、子どもたちにとっても保護者の皆様にとっても、「第二の実家」でありたいと考えています。気の許せる親戚のような存在を目指しています。
そうです。私たちが届けたいものは、「安心」。学童ばーす千秋はその安心基地を目指します。

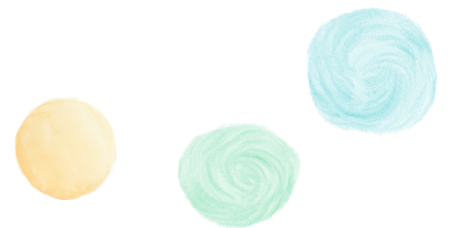
お母さんお父さんの心に余裕がないと、子どもたちは敏感にそれを感じ取り、不安定になったり、問題行動として表れたりすることがあります。
しかし、そういった悩みは、家族や友人だからこそかえって言いづらかったりもします。
それなりに色々と知っているものの、友達ではない、というちょうどよい立ち位置に我々はおります。
心に余裕がなくなりそうなときは、ぜひお声がけください。
誰かに話すだけでも、気持ちは軽くなるものです。コーヒー飲みながら、お伺いしますよ。
実のところ、毎月誰かしらとコーヒーを飲んでいます。
子どもも大人も、もうちょっと肩の力を抜いて、執着を捨てて、もっと楽に生きていけたらいいのに。
そんなことを思いながら、子どもも大人も、この学童で迎え入れています。

子どもの心の安定にとって一番大切なのは、「家族が笑顔で幸せそうであること」です。
皆様と一緒に、子どもたちの健やかな成長を見守っていただければと思います。
何かあってもなくても、ぜひ、共有ください。

よければ一緒に。

そのほうが楽しい。

これからどうぞ、よろしくお願いします。
ご縁をありがとうございます。



ばーすファミリー（関連施設）のご紹介



放課後等デイサービス

放デイ ばーす

型にはまらないことは、
才能だ！

「放課後等デイサービス」とは、発達に特性のある小学生から高校生（6～18歳）の子どもたちが、放課後や長期休暇中に通い、自立に向けた療育や生活能力の向上を学ぶための通所型の福祉サービスです。

ひとりひとりがのびのびと
いられる場所

いじぶんらしさを
ていねいに育む場所

型にはまらないことは、 才能だ！

開所日…月・火・水・木・金
開所時間…14:00～17:00
(長期休み期間 12:00～17:00)
定員…10人

「放デイ ばーす」で、できること

ソーシャルスキル
トレーニング

「対人関係スキル」
「社会生活の技能」
をロールプレイや、
ゲームを通じて、
段階的に学びます。

不登校支援
(居場所づくり)

個別学習支援

包括的性教育
(人権教育)

学童保育との連携
(社会性育成)

学校 → 学童保育
学童保育 → 放デイ

学校へのお迎え

「放デイばーす」の強み

【関わり方の学び】 ペアレントトレーニング

「毎日怒ってばかり…」と自己嫌悪になりがちなお母さんへ。効果的な関わり方を学び、親子関係の悪循環を断ち切ろう！子どもの好ましい行動を引き出して、親子の良好な関係作りをめざします。

×

「自分はとっても大切な人だ」を、 【自分も相手も大切に学ぶ】 親子でともに。 包括的性教育

世界基準の包括的性教育は、人権教育でもあります。自分を大切にするってどんなこと？相手を大切にすることってどんなこと？プライベートパーツやバウンダリー（境界線）の理解から、自分も相手も大切にする方法を親子で段階的に学びます。

2つを掛け合わせた独自の親子ケアで、信頼関係を育みながら「良好な親子関係」をサポートします！

「ばーすファミリー」で、生れる前から高校生まで継続支援

「ばーす」は、「birth＝誕生・生まれる」という意味。「ばーす」という場所は、家族が生まれる・生まれ変わる・本来の自分らしさに気づける、そんな場になることを目指しています。



放デイばーす：所在地

秋田市手形田中
(東中学校近く)

お問い合わせ先

公式LINE
からお気軽に
お問い合わせ
ください♪



ばーすファミリー（関連施設）のご紹介



＼ 妊娠・出産・子育て期を、もっと幸せに… /

産前産後ケアハウス

助産院 ばーす

（管理者：助産師 石岡真理子）

（所在地：秋田市御野場２－１３－４）

（連絡先：０９０－７５６６－４８２７）

助産院（助産所）とは、医師ではなく助産師が中心となり、妊娠・出産・産後のお母さんと赤ちゃんのケアや、母乳相談・育児相談を行う、家庭的でアットホームな施設です。

助産院ばーすは、出産の取り扱いはしていませんが、妊娠前から出産後、育児の長い期間にわたりご利用いただけます。女性が母親になっていく過程に親身に寄り添い、「不安」ではなく、「安心感」の中で自分のペースで「母親」となっていけることを大切にしています。

産前ケアでは、妊娠中の心身の変化をゆっくりと受け入れることができるように、じっくりとお話をする時間や、ひとりひとりにあったアドバイスや知識を得ることができます。

出産を病院で終えたら、退院後すぐからご家庭に訪問して産後ケア（母乳育児支援）を行っています。母乳育児が軌道に乗り、自信が付くまでサポートしています。

母乳育児中の乳房トラブルや、育児相談も随時応じます。

卒乳までの長い期間サポートさせて頂いております。

また、乳幼児期から思春期までの「性教育」も指導しております。

生まれる前から思春期まで未永く関わらせていただける助産院です。

どうぞ、いつでもばーすに帰ってきてくださいね。

子育てで迷ったら…我が子が生まれた時の初心にいつでも戻っていいんです。

「生まれてきてくれただけでうれしかったあの頃。」「生まれてきてくれてありがとう！」

子供が小さかった時のことを思い出して、あの時から比べたら、今はなんて大きくなったんだろう。その過程を思い出してください。いろんなことがあったおかげで、自分も親として育ててもらったなあ、思えるのではないのでしょうか。

第１子さんは特に、親を成長させてくれる存在です。たくさん大変なこともあるけれど、一緒に悩んで一緒に泣いて、親子で成長している。なんて素敵な時間でしょう。こんな経験をさせてくれるわが子に感謝の気持ちが湧いてくるなら、あなたは親として次のステージへ進んでいます。次のステージとは、「思春期」の荒波へ突入してゆくわが子へ、「恩返し」をすること。子供への恩返しとは、子どもと衝突することではなく、「信じること・見守ること・暖かな愛情で包み込むこと」です。思春期に突入する前から、学童期の子どもの心は大揺れです。（中間反抗期・ギャングエイジ期＝７・８歳～９・１０歳）この時期の子どもは、揺れ動きながら、まだまだ親の安心基地が必要です。規則正しい生活、家庭のルールなど、守ることは守らせる、でも、疲れたら甘えたっていい。ぎゅーっと抱きしめてあげるだけで、落ち着くこともあるかもしれません。スキンシップはまだまだ大切です。

学童期の子育てに悩んだら、「育児相談」をお気軽にご利用ください。

管理者・助産師 石岡真理子

【できること】

性教育 おやこで学ぶ いのちのお話

産前ケア

出産準備レッスン&ケア

育児相談

ペアレントトレーニング

産後ケア

母乳育児支援・母乳相談（乳房マッサージ）／卒乳ケア

ボディケア

バザルトストーン®トリートメント（ホットストーン）

ばーすスタッフのご紹介



学童保育 ばーす千秋

施設長

石岡 大輔



職 歴 : カワイ体育教室・ソニー生命保険・遊べる本屋

好きなもの : 滝・神社・コーヒー・日の出日の入り黄昏時

行動 指 針 : やらないより、やる。いかないより、いく。
食べないより、食べる。
それだけで世界は劇的に変わる。

目 指 す 人 : 高田純次さん ・ 野原ひろし

おすすめ曲 : KANさん「よければ一緒に」



産前産後ケアハウス 助産院ばーす 代表助産師

放課後等デイサービス 放デイばーす 管理者

石岡 真理子



職 歴 : 中通総合病院・ひぐちウィメンズクリニック
出張専門いしおか助産院

好きなもの : 土鍋ごはん・08 COFFEE・無印良品・カゴ・古民家・
古道具・神社・ぐりとぐら

好きなこと: 甘酒作り・DIY・お庭いじり・人生を深掘りして相手の
話をじっくり聞くこと・夫婦の対話・子どもと対話

行 動 指 針: 思い立ったら吉日生活。一期一会。

目指す人: アナスタシア (シベリア杉の)

●学童保育 ばーす千秋

まくさん / ゆみこさん / かおりさん / みかさん / ゆかさん /
わかこさん / りゅうしんさん / じゅんこさん / なおみさん
さきさん / しいさん

●放デイばーす

みきさん / ひろしさん / ますみさん / ゆうかさん

●ドライバー

こんさん / けんたさん / やまさん / しらさん

●サポーター

様々なジャンルの尖った外部講師・大学生高校生のボランティア 他

よければ、一緒に。そのほうが楽しい。

2026.8

合同会社 石岡